

令和3年度
当初予算・組織定数改編(案)の概要

富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり

かえりなん ふるさと
～ 帰去来 いざ！故郷“ふじのくに”へ～



予算編成・組織定数改編の方針

富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり

～かえりなん帰去来ふるさといざ！故郷“ふじのくに”へ～

方針1 ウィズコロナ・アフターコロナ時代の先導的な地域づくり

- 感染拡大防止とリスクへの備え
- 「フジノミクス」による経済の拡大
- 「ふじのくにライフスタイル」の創出

方針2 人づくり・富づくりの総仕上げ

- 静岡県をドリームズ Dreams カム come true トゥルー in イン Japan ジャパンの拠点にするための8つの政策

方針3 生産性が高く持続可能な行財政運営

- 政策の推進に向けた組織体制の強化
- 将来にわたって安心な財政運営の堅持

富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり

かえりなん 帰去来 ふるさと いざ！故郷“ふじのくに”へ～



予算の規模

一般会計

1兆3,094億円

うち新型コロナウイルス感染症対策分
538億円
(2月補正を含めて737億円)

全会計

(単位:億円、%)

区分	R3当初	R2当初	増減	伸率
一般会計	13,094	12,792	302	2.4
特別会計	7,988	8,217	△229	△2.8
企業会計	809	801	8	1.0
合計	21,891	21,810	81	0.4



歳出の特徴

(単位:億円)

区分	R3当初 A	R2当初 B	増減 A-B
歳出総額	13,094	12,792	302
義務的経費	6,296	6,303	△7
人件費	3,001	3,028	△27
扶助費	1,328	1,273	55
公債費	1,861	1,855	6
災害復旧費	106	147	△41
税関関連法定経費	2,194	2,242	△48
投資的経費	1,842	2,016	△174
行政費、奨励費等	2,762	2,231	531

<義務的経費> △7億円

- ・扶助費
子ども・子育て支援給付費負担金(+18億円)
介護給付費県負担金(+13億円)
- ・災害復旧費
過年災害(令和2年被災分)の減(△41億円)

<投資的経費> △174億円

- ・防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策(△130億円)
- ・工科短期大学校の施設整備等(△38億円)

[新型コロナ対策] 538億円

- ・医療機関が行う感染者受入病床の確保や院内感染の防止対策等への支援(245億円)
- ・軽症者等の療養施設(ホテル)の確保やPCR検査等の実施体制の整備(38億円)
- ・中小企業の資金繰り支援(融資枠500億円)

富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり

かえりなん

ふるさと

～帰去来 いざ！故郷“ふじのくに”へ～

歳入の特徴

(単位:億円)

区分		R3当初 A	R2当初 B	増減 A-B
歳入総額		13,094	12,792	302
一般財源等	県税	4,470	4,870	△400
	地方譲与税	428	667	△239
	実質的な地方交付税	2,807	2,135	672
	地方交付税	1,669	1,515	154
	臨時財政対策債	1,138	620	518
その他	1,984	2,013	△29	
特定財源	国庫支出金	1,677	1,383	294
	県債(臨財債を除く)	999	1,065	△66
	その他	729	659	70

<県税> △400億円

- ・法人2税 : △290億円
新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の悪化
- ・地方消費税 : △53億円
新型コロナウイルス感染症の影響による消費回復の遅れ
- ・個人県民税 : △28億円
課税対象となる令和2年給与所得総額の減

<実質的な地方交付税> +672億円

- ・臨時財政対策債 : +518億円
地方財政対策を踏まえた発行可能(見込)額の増

<国庫支出金> +294億円

新型コロナウイルス感染症への対応に伴う増



方針1 ウィズコロナ・アフターコロナ時代の先導的な地域づくり

○新型コロナウイルス感染症対策

感染拡大防止と
リスクへの備え

501億円 (2月補正193億円)

「フジノミクス」に
よる経済の拡大

20億円 (2月補正 5億円)

「ふじのくにライフ
スタイル」の創出

17億円 (2月補正 1億円)

計

538億円 (2月補正を含めて737億円)



感染拡大防止とリスクへの備え

新型コロナウイルス感染症対策関連事業 293億3,800万円

- ・感染者の受入病床の確保
- ・軽症者等の療養施設(ホテル)の確保
- ・PCR検査・抗原定量検査の実施
- ・ワクチン接種体制の確保
- ・院内感染の防止 ほか

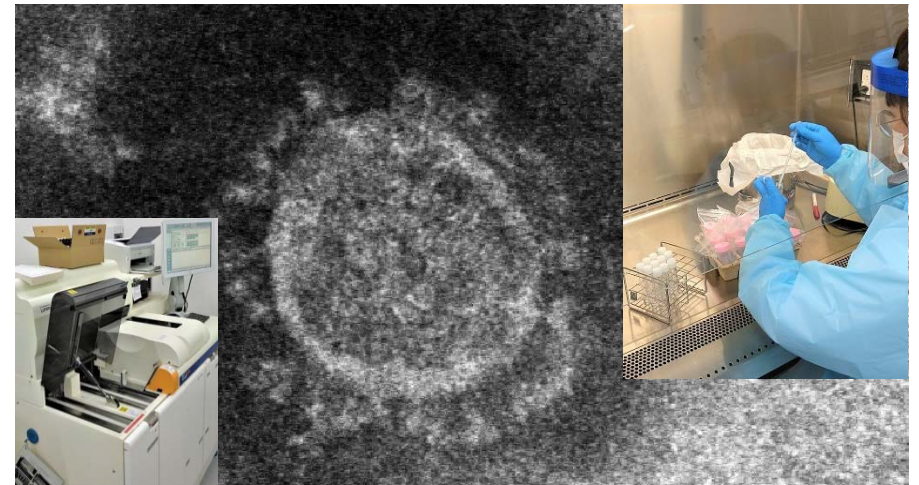


感染者の受入病床

新型コロナウイルス感染症患者受入医療 機関等支援事業費助成(新規)

＜2月補正＞ 8億3,000万円

- ・救急医療や新型コロナ患者の入院受け入れを行う病院に対し、クラスター発生時に支援金を支給
- ・病院による回復患者の転院等を支援し、コロナ病床を確保 ほか



新型コロナウイルス・抗原定量検査

感染拡大防止とリスクへの備え

救急車両感染症防止対策事業費(新規) 3,700万円

- 救急車両に感染予防機材(オゾン発生装置)を
配備し、救急隊員の感染リスクを低減



救急車における感染予防



学校等感染症対策関連事業費 ＜2月補正含む＞ 9億8,900万円

- 感染症対策のため、学校や幼稚園等に衛生用品
等を整備 ほか

新型コロナウイルス妊産婦総合対策事業 費助成

＜2月補正(国補正分)＞ 1億3,200万円

- 妊婦のウイルス検査支援
- 保健師等による感染した妊産婦に対する支援

児童福祉サービス等対応職員慰労金支 給事業費(新規)

＜2月補正＞ 15億5,200万円

- 保育所・幼稚園の職員、里親等に慰労金を支給
(5万円/人)



「フジノミクス」による経済の拡大

新たな地域経済圏における販路開拓事業費(新規) 4,100万円

- ・^{やま くに}山の洲における農林水産物の販路拡大を促進

新たな流通体制の構築による水産物の魅力向上事業費 1,000万円

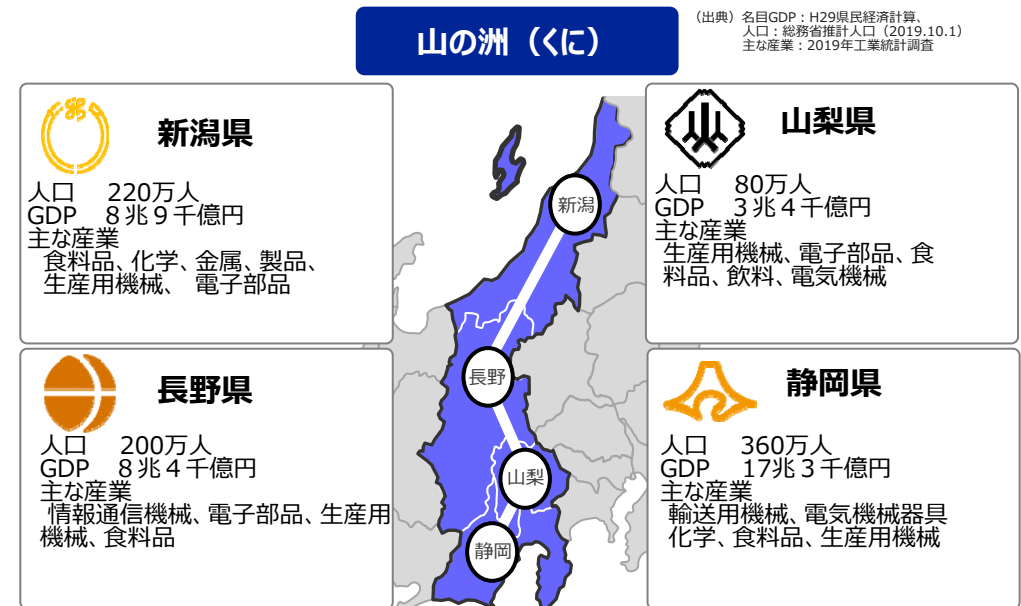
- ・^{やま くに}山の洲における県内水産物の新たな需要確保や流通体制の構築

医療機器産業基盤強化推進事業費助成 2億6,300万円

- ・医療資材や医療機器の開発に取り組む「命を守る」企業の初期投資・研究開発・事業化を一貫して支援

中小企業デジタル化・業態転換等促進事業費助成 4億1,000万円

- ・中小企業等の新たなビジネスモデルへの挑戦やデジタル化等の取組を支援



「ふじのくにライフスタイル」の創出

ふじのくにに住みかえる事業費 5,300万円

- ・地域の情報発信や相談体制等を強化し、移住・定住を促進

ふじのくにライフスタイル創出住宅リフォーム事業費助成 2億1,100万円

- ・テレワークスペースを確保するための住宅改修の支援 ほか

観光地ワーケーション受入促進事業費助成(新規) 3億2,000万円

- ・宿泊事業者等が行う受入環境整備の支援 ほか

しずおかジョブステーション運営事業費 1億1,400万円

- ・就職サポーターの実施体制の増員を維持(10人→19人) ほか

テレワーク等導入促進事業費 600万円

- ・テレワークの導入に課題を抱える中小企業を支援

世界遺産富士山安全安心・魅力発信事業費(新規) 2億300万円

- ・ソーシャルディスタンス確保のための誘導員を追加配置(富士宮ルート:3人→5人)
- ・3密対策のための山小屋の改修を支援 ほか



方針2 人づくり・富づくりの総仕上げ

● 静岡県を^{ドリームズ}Dreams ^{カム}come true ^{トゥルー}in ^{イン}Japan ^{ジャパン}の拠点にするための8つの政策

- 1 命を守る安全な地域づくり
- 2 安心して暮らせる医療・福祉の充実
- 3 子どもが健やかに学び育つ社会の形成
- 4 誰もが活躍できる社会の実現
- 5 富をつくる産業の展開
- 6 多彩なライフスタイルの提案
- 7 “ふじのくに”の魅力の向上と発信
- 8 世界の人々との交流の拡大



1 命を守る安全な地域づくり

●防災・減災対策の強化

「わたしの避難計画」普及事業費(新規)
3,500万円

- ・ワークショップの開催を通じ、住民一人ひとりの避難計画の作成を促進

浸水区域内要配慮者利用施設支援事業
費助成(新規) 5,000万円

- ・浸水区域内の社会福祉施設における施設改修等の災害対策を支援

プロジェクト「TOUKAI-O」総合支援事業費
7億4,600万円

- ・在宅避難を促進するための耐震補強工事を集中的に支援(800件) ほか

地震・津波対策等減災交付金 30億円

- 市町の地震・津波対策事業等を支援(R元～R4)
- [拡充] 民間所有公民館の新築・建替、改修
- 市町が電力会社等と連携して行う支障木の予防伐採の補助率引上げ(1/3→1/2) ほか



避難所運営訓練

1 命を守る安全な地域づくり

●安全な生活と交通の確保

「新しい生活様式」に対応した道路環境整備事業費(新規) 25億円

- ・地域の公園周辺などの歩道整備、通勤・通学路の自転車道整備、防草対策(R3~R4)

警察庁舎整備事業費 8億8,200万円

- ・大仁警察署(R5業務開始)
- ・交通管制センター(R6業務開始)
- ・交番・駐在所改築(7か所)

交通安全施設等整備事業費 42億8,300万円

- ・信号機の新設、道路標識・標示等の整備 ほか

●県土強靱化に向けた集中的取組

一般公共・国直轄事業 <2月補正> 495億円

- ・国の5か年加速化対策に基づく河川、砂防等の防災インフラ整備

緊急自然災害防止対策事業費 50億円

- ・国の5か年加速化対策と連携した県単独の防災インフラ整備(R3~R4)

緊急治水対策事業費(新規) 25億円

- ・要配慮者支援施設等の周辺の河川災害対策、土砂災害対策(R3~R4)



2 安心して暮らせる医療・福祉の充実

●安心医療の確保・充実と健康寿命の延伸

社会健康医学関連事業費

33億9,800万円

- ・大学院大学(R3.4開学)の運営費支援
- ・賀茂地域でのゲノムコホート等の研究推進 ほか



社会健康医学大学院大学(イメージ)

ドクターヘリ運航事業費助成 **6億700万円**

[拡充]ドクターヘリ運航経費の助成額を引上げ

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ

運営事業費

13億5,700万円

- ・県内外の大学との連携による医師の不足・地域偏在の解消 ほか
- ・新規貸付:120人(20万円/月)、地域枠:62人

産科医療確保事業費

1億3,100万円

[新規]産科救急受入医療機関の24時間体制整備
NICU(新生児集中治療室)の運営を支援

地域医療機能分化等推進事業費助成

(新規)

4,500万円

- ・地域医療連携推進法人の設立に向けた計画策定や施設・設備整備を支援



2 安心して暮らせる医療・福祉の充実

●地域で支え合う長寿社会づくり

地域包括ケア推進事業費

2億5,500万円

- ・地域包括ケアシステムに、予防段階から多職種連携する機能等を追加
- ・地域連携薬局を担う薬剤師の在宅業務研修

認知症対策関連事業

1億300万円

〔拡充〕若年性認知症の人の就労継続に向けた支援 ほか

福祉分野ICT化等関連事業

3億4,300万円

・福祉分野の業務の効率化等を図るため、ICT機器を導入する事業所等を支援

●障害のある人が分け隔てられない共生社会の実現

ふじのくに福産品販路拡大事業費(新規)

4,400万円

- ・福産品のオンライン販売、新商品開発を支援

障害のある人に対する就労支援関連事業費

1億1,900万円

- ・ジョブコーチの養成、雇用推進コーディネーターの配置 ほか



福産品(焼き菓子)の製造

3 子どもが健やかに学び育つ社会の形成

●安心して出産・子育てができる環境づくり

ふじのくに出会い応援事業費(新規)

2,800万円

- ・結婚を支援するサポートセンターの設置、運営

不妊治療費助成

＜2月補正(国補正分)＞11億5,200万円

- ・特定不妊治療等を行う夫婦を支援
〔拡充〕15万円/回→30万円/回
所得制限:730万円未満→撤廃 ほか

難聴児等支援関連事業費

4,200万円

- ・医療機関へ派遣する言語聴覚士の増員(3人→4人)
- ・聴覚検査結果を集約するアプリの開発 ほか

子どもの居場所応援事業費助成(新規)

1,500万円

- ・ふるさと納税等を活用し、子ども食堂の運営費等を支援

こども医療費助成

22億7,300万円

- ・こども医療費助成を行う市町への支援



言語聴覚士による親子教室

3 子どもが健やかに学び育つ社会の形成

●「文・武・芸」三道鼎立の学びの場づくり

新時代を拓く高校教育推進事業費(新規) 1億円

- ・普通科改革、新学科(演劇科、バカロレア等)の具現化
- ・実学系学科における産学官連携の推進

高等学校の教育環境充実

61億1,300万円

- ・新構想高等学校の整備
伊東地区(R5開校予定)
志太榛原地区(R6開校予定)
- ・長寿命化改修の実施 ほか

私立高等学校授業料減免事業費助成 13億2,100万円

私立専修学校等授業料減免事業費助成 7,800万円

[拡充] 年収700万円以上750万円未満の世帯を
全国平均授業料の1/2程度まで減免
(年収700万円未満の世帯は実質無償化を継続)

特別支援学校の教育環境充実

9,100万円

- ・富士・富士宮地区分校整備(R5開校予定)
- ・静岡地区新校整備(R8開校予定) ほか



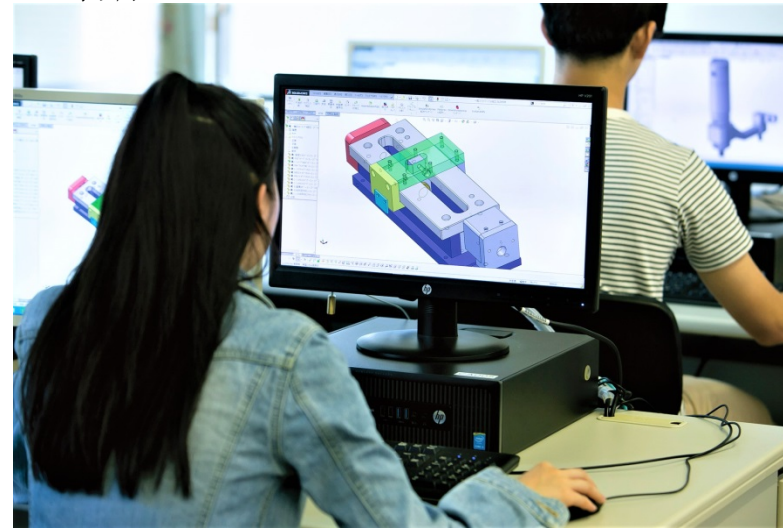
4 誰もが活躍できる社会の実現

ふじのくにICT人材育成事業費 1億1,100万円

- ・TECH BEAT Shizuokaを開催し、ICT人材を確保
- ・首都圏ICT企業の誘致を強化 ほか

デジタル化等促進職業訓練事業費 (新規) 1,500万円

- ・デジタル化等の技術革新に対応できる人材を育成



デジタル技術
習得のための
職業訓練

未来を切り拓く多様な人材育成推進 事業費 1億円

- ・留学コーディネーターの設置
- ・国際学生寮の整備 ほか

多文化共生関連事業費 1億8,600万円

- ・外国人向け生活情報ポータルサイトの開設
- ・外国人学校生徒へのキャリア教育支援(6校) ほか

性の多様性理解等促進事業費 300万円

- ・性的少数者の専門相談窓口の整備 ほか



5 富をつくる産業の展開

● 富を支える地域産業の振興

中小企業向け制度資金

＜融資枠 1,700億円＞

利子補給額 170億7,700万円

- ・新型コロナウイルス対応融資枠 500億円

新型コロナウイルス感染症対策地域振興 臨時交付金(新規)

＜2月補正＞ 30億円

- ・感染拡大防止を図る市町と一体となつて行う地域の経済支援

中小企業等専門家派遣事業費 1億円

- ・支援機関からデジタル分野等の専門家を派遣し、中小企業等のニーズに対応

経営革新計画促進事業費助成

3億8,300万円

- ・経営革新計画に基づく新商品開発、販路開拓等の取組を支援

小規模企業経営力向上支援事業費助成

3億4,900万円

- ・工夫・改善による取組を実施する小規模事業者を支援

企業立地関連事業費助成

74億100万円

- ・工場の新増設に伴う用地取得や建物建設費への支援 ほか

5 富をつくる産業の展開

●次世代産業の創出と展開

新産業集積関連事業費 6億4,800万円

- ・ファルマバレー、フーズ・ヘルスケア、フotonバレーの3プロジェクトの推進 ほか

マリンバイオ産業振興事業費
4億2,600万円

- ・海洋生物資源を活用した革新的な技術開発、産業分野への応用促進

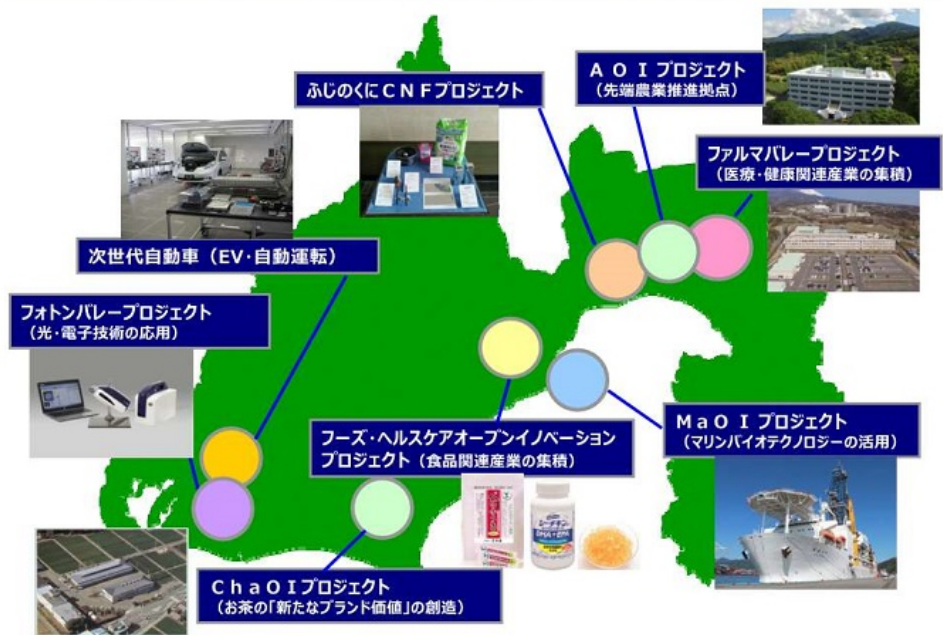
EV・自動運転化等技術革新対応促進事業費
3億2,700万円

- ・EV化等、自動車産業の構造変化への対応に取り組み県内企業を支援

ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費
5,200万円

- ・静岡大学と連携したCNF寄附講座 ほか

先端産業創出プロジェクト



富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり

かえりなん

ふるさと

～帰去来 いざ！故郷“ふじのくに”へ～

5 富をつくる産業の展開

● 農林水産業の競争力の強化

ChaOIプロジェクト推進事業費
1億7,500万円

- ・オープンイノベーションによる静岡茶の新たな価値の創造や需要に応じた生産構造の転換等を促進

食肉センター再編整備事業費(新規)
3億8,500万円

- ・老朽化した県内2か所の食肉センターを再編整備

森林認証材供給基盤整備事業費助成
(新規) 3億6,800万円

- ・主伐した認証材の効率的な運搬に必要な路網や架線の整備を支援

住んでよし しずおか木の家推進事業費
助成 2億1,700万円

- [拡充]県産材を利用した大規模な住宅リフォームの助成単価を引上げ



県産材を活用した住宅

6 多彩なライフスタイルの提案

●魅力的なライフスタイルの創出

多彩なライフスタイル情報発信強化事業費 1,800万円

- ・サテライトオフィスやワーケーションの誘致により人材と企業の流れを創出
- ・情報発信の強化、トライアル勤務体験の実施



ほか

地球温暖化対策推進事業費 2,300万円

- ・次期地球温暖化対策実行計画の策定(R4~R12)
- ほか

“ふじのくに”のフロンティア推進事業費 1億5,100万円

- ・推進エリアに認定された市町が実施するエリア形成事業を支援(15市町)

ふじのくにエネルギー総合戦略検討事業費(新規) 1,100万円

- ・次期エネルギー総合戦略(R4~R8)の策定

脱炭素社会に向けた地域の自立・分散型エネルギーシステム構築事業費助成(新規) 1,000万円

- ・再生可能エネルギー等を活用した地域の自立・分散型エネルギーシステムの構築を支援

7 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

●スポーツの聖地づくり

東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技開催推進事業費 19億2,100万円

- ・聖火リレー、都市装飾、本大会の運営 ほか

東京2020オリンピック・パラリンピックレガシー推進事業費 7,700万円

- ・サイクルスポーツセンターの自転車競技強化・育成拠点化に関する検討
- ・国際ロードレース大会の実現可能性調査 ほか

ラグビー聖地化推進事業費 1億2,500万円

- ・全国トップのラグビー環境(エコパ全5面)を活用した全国大会や合宿の誘致
- ・日本代表テストマッチの開催誘致に向けた準備 ほか



自転車ロードレース



伊豆ベロドローム

競技力向上対策事業費 3億300万円

- ・ICTを活用したリモート指導、戦術分析等を支援 ほか

遠州灘海浜公園(篠原地区)調査検討事業費(新規) 1,000万円

- ・アフターコロナ時代のスポーツ施設等のあり方の調査・検討

7 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

●文化芸術の振興

新県立中央図書館整備事業費

3億100万円

・基本・実施設計、図書館のDXに関する検討 ほか

アーツカウンシル運営事業費助成(新規)

1億4,600万円

・プログラムに対する助成や専門的な人材の設置により県民主体の創造的活動を支援

オリンピック・パラリンピック文化プログラム推進事業費

8,800万円

・NIPPONフェスティバルなど各種プログラムの実施 ほか

文化芸術における静岡ブランド創造・発信事業費(新規)

5,000万円

・富士山静岡交響楽団(R3.4月設立)の全県での音楽鑑賞機会の創出を支援 ほか

「演劇の都」推進事業費

2,500万円

・プロを目指す高校生を対象とした演劇スクールの設置(R3.4月開校)
・舞台芸術公園利活用推進計画の策定 ほか

●美しい景観の創造と自然との共生

南アルプス関連事業費(新規)

<2月補正を含む> 2億2,900万円

・南アルプス環境保全基金を創設し、南アルプスの生態系の保全及び魅力発信を強化

富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり

かえりなん

ふるさと

～帰去来 いざ！故郷“ふじのくに”へ～



8 世界の人々との交流の拡大

●世界クラスの資源を活かした観光交流の拡大

観光誘客関連事業費

10億500万円

- ・観光産業の回復に向けた宿泊キャンペーン ほか

空港施設整備事業費 12億3,900万円

- ・滑走路端安全区域の整備のための進入路設置
ほか

駿河湾フェリー利活用促進事業費

1億8,400万円

- ・利用促進、運航継続のための市町と連携した支援
- ・フェリー関連施設(土肥港の待合所など)の整備
ほか

地域外交関連事業費 8,000万円

- ・重点国や地域との交流の促進 ほか

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を活用した誘客促進事業費(新規) 500万円

- ・大河ドラマを契機として、東部・伊豆地域を中心とした観光誘客を展開



韮山文化センター(韮山時代劇場)



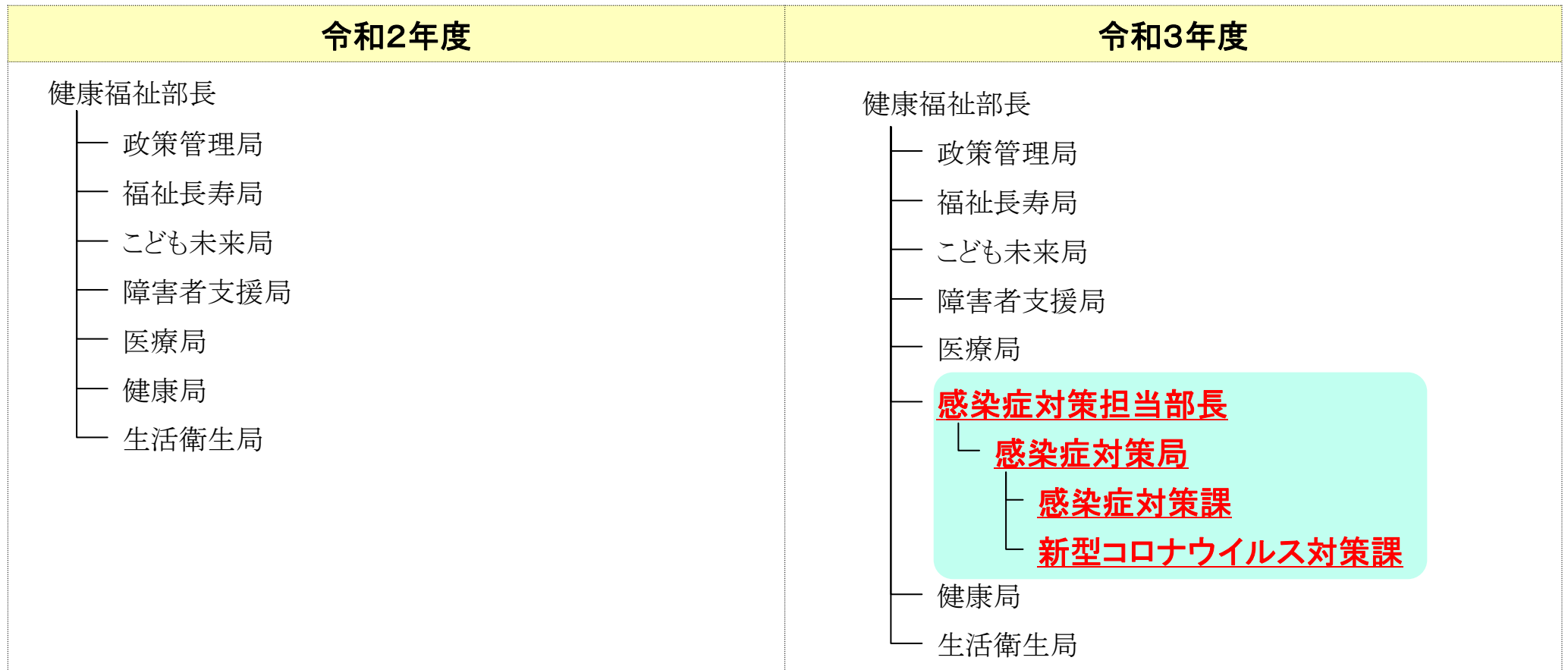
方針3 生産性が高く持続可能な行財政運営

- 1 政策の推進に向けた組織体制の強化
- 2 将来にわたって安心な財政運営の堅持



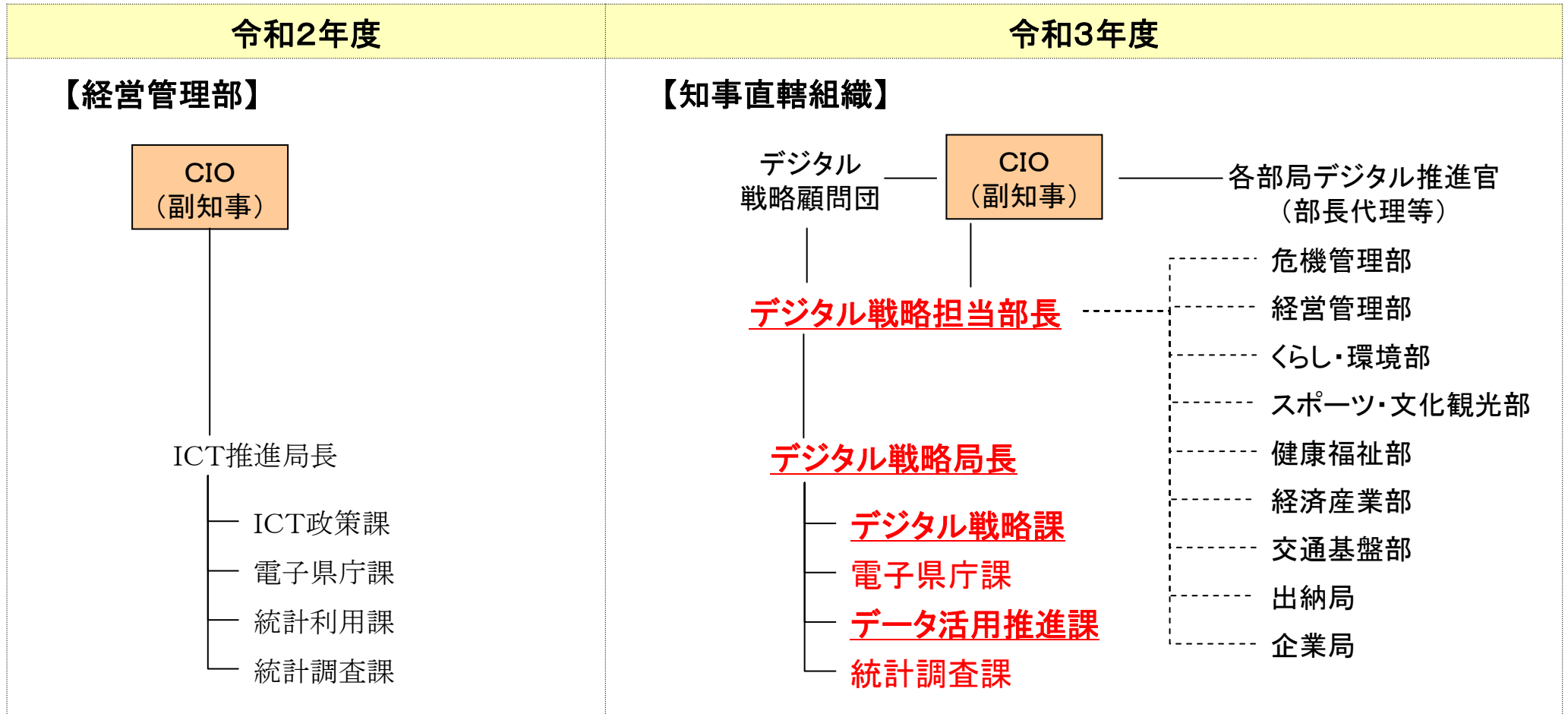
新型コロナウイルス感染症対策の体制強化

県政の最重要課題である新型コロナウイルス感染症の感染症拡大防止に向けた新たな推進体制を整備するため、**感染症対策担当部長及び感染症対策局を設置**する。



デジタル戦略機能の強化

知事直轄組織にデジタル戦略局を設置するとともに、各部局に置くデジタル推進官を統括するデジタル戦略担当部長を置き、全庁を挙げてデジタル関連施策を推進する。



政策の実効性を高める行政経営

●現場に立脚した施策の構築・推進

広聴・広報関連事業費

2億7,300万円

- 【新規】県民サービスセンターにモバイルワークや情報発信のスペースを整備
- 動画を活用した情報発信の強化 ほか



県庁内に情報発信スペースを整備

●生産性の高い持続可能な行財政運営

ふじのくにデジタルトランスフォーメーション推進事業費（新規）

9,900万円

- ・県DX戦略を策定
- ・デジタル戦略局を中心に行政分野を含めた県全体のデジタル化を推進



RPAによる業務効率化

県庁スマートワーク推進事業費

6,300万円

- ・ICTによる業務改善、「新しい生活様式」に対応した職場環境の整備



事業見直しの取組

歳出のスリム化、歳入の確保により86億円を見直し

(単位:億円)

区 分	見直し額	備 考
歳出の見直し	59	
事業手法の見直し (ビルド・アンド・スクラップ)	51	補助金(補助率、加算率の見直し): 13 イベント(簡素化、オンライン化): 2 旅費(オンラインの活用): 2 施設整備(整備内容の見直し等): 4 ほか
計上最適化	8	過去の決算等を考慮
歳入の確保	27	土地・建物等の財産売却: 11 基金の廃止: 3 寄附金(企業版ふるさと納税等): 1
合 計	86	



県債残高と活用可能基金の推移

＜年度末県債残高＞

通常債残高は、1兆6,000億円を上回る見通し

(単位:億円)

区 分	R元年度末	R2年度末見込	R3年度末見込
通 常 債	15,615	16,558	16,414
臨時財政対策債	11,526	11,661	12,271
病 院 債	430	435	470
計	27,571	28,654	29,155

＜活用可能基金の推移＞

活用可能基金の残高は、リーマンショック後のH21年度、H22年度と同程度 (単位:億円)

区 分	H21当初	H22当初	…	R元当初	R2当初	R3当初
当初予算編成後	48	47	…	374	208	53

